

令和6年度 中地区 幼保小教育交流事業活動報告

【活動テーマ】

「子どもの育ちと学びをつなぐ
幼保小交流の推進」

【活動テーマについて】

区内における幼保小の交流を中心とした連携をさらに推進し、架け橋期に安心して自己を発揮できる子どもの姿を目指す。

【交流事業対象の園・校数】

- | | |
|--------|-----|
| • こども園 | 2園 |
| • 幼稚園 | 13園 |
| • 保育園 | 27園 |
| • 小学校 | 10校 |

【年間活動報告】

月日	活動内容	場所
5月14日	委員長・副委員長会	山元小学校
6月28日	中地区幼保小総会	山元小学校
7月24日	スタカリ・架け橋研修会 ※接続カリキュラム推進地区と合同 講師:ゆうゆうの森幼保園理事長 渡邊 英則様	山元小学校
10月10日	第1回実行委員会	山元小学校
10月29日	保護者・地域と学ぶ健やか子育て講演会 講師:ゆうゆうの森幼保園理事長 渡邊 英則様	山元小学校
1月23日	第2回実行委員会	山元小学校
2月	中地区幼保小全体会	山元小学校

※幼保小の交流活動は、各小学校ブロック内で実施

【活動報告①】 スタカリ・架け橋理解研修

講師 認定こども園ゆうゆうのもり幼保園 ※接続期カリキュラム推進地区研修と合同
港北幼稚園
園長 渡邊 英則先生

子どもは安心できると挑戦する→園も学校も子どもがにこにこして過ごせる場所に

乳幼児期→遊ぶ力が大事 遊びの中で非認知能力が育つ

(やりぬく力 感情のコントロール コミュニケーション能力等)

友達と意見をぶつけ合いながら子どもが自分で解決→子どもの主体性を育む

教わること＝考えないこと 自分で考える、自分で行動する 外発的動機付けでは育たない

大人はどっしり構え、子どもが求めてきた時に情緒的に利用可能な存在であればよい

(必要されていないときは、あえて子どもの活動に踏み込まない)

子どもの声によってプランを変えていく

研修会では、幼保園からこんな声がありました・・・

①期待する1年生の姿

- ・明日を楽しみに生活できる。
- ・毎日「学校へ行きたい」と思う。
- ・「学校が大好き」「先生が大好き」
- ・好きなことをたくさんもてる。
- ・新たな発見をうれしそうに報告する。
- ・園の姿同様に主体的を発揮できる。
- ・自分の思いを表現できる。
- ・自分たちで考えて行動する。
- ・失敗を恐れずあきらめない。
- ・園の育ちを発揮する、生かしてがんばる。
- ・自信をもって自分たちの力でがんばる。
- ・困ったときは、周りに尋ねることができる。

②小学校へ望むこと

- ・小学校が安心できる場所、自分らしさを発揮できる場所であってほしい。
- ・結果ではなく、過程を評価してほしい。
- ・子ども一人ひとりが思いを伝えられる場や時間があるしてほしい。
- ・子どもの様子をよく見取る。
一人ひとりの話をよく聞く。
- ・子どもが自分で考え主体性を発揮できるように待つ姿勢を大切にしてほしい。
- ・自力解決に向けて見守ることも大切にしてほしい。
- ・できること、できたことを認めてほしい。

【活動報告②】 健やか子育て講演会



講師 認定こども園ゆうゆうのもり幼保園
港北幼稚園
園長 渡邊 英則先生

演題 『これからの社会に求められる子どもの育ちや学びとは
～こども家庭庁「はじめの100か月ビジョン」が訴えていること～』

子ども真ん中社会

子どもを真ん中にして考え、安心できる
環境の中で主体性を発揮できるように

「はじめの100か月ビジョン」

誕生前から小学校1年生の終わりまでの100か月

- ・保護者、園、学校は子どもの思いや願いを聴く、大事にする。
- ・「危ないからやめなさい」ではなく、豊かな遊びと体験ができる環境を構成する。

生涯学び続ける力
自分の頭で考える力

子どもの
幸せ

=

大人の
幸せ

安心

挑戦

間門小ブロック活動報告

和光幼稚園、アスク本牧保育園、錦保育園、高風保育園、太陽の子不動下保育園
ルンビニ幼稚園、本牧めぐみ幼稚園、八幡橋幼稚園



一回目の交流では、「じゃんけん列車」で一緒に遊んだあと、あきやさんに招待しました。秋の自然物を使ったアクセサリやおもちゃを用意して、園児さんを案内したり、買い物の仕方を教えたりすることができました。「優しく教えてあげたよ」と、頼もしい姿が多く見られました。



二回目の交流では、159名ものたくさんの園児さんが参加してくれました。「間門小へいこうよ」のゲームを行ったあと、紙皿コロコロという冬に遊ぶおもちゃを一緒に作りました。活動後、幼稚園さん、保育園さんから楽しく遊んだというお手紙をいただき、1年生は嬉しそうにしていました。



三回目の交流では、「学校案内」「おみせやさん」をしました。お気に入りの場所に案内した後、お店屋さんに招待しました。最後にどんでりで作ったおもちゃをプレゼントしました。「間門小は楽しいところがいっぱいだよ、入学を待っています。」というメッセージを送りました。

本牧小ブロック活動報告

本牧小学校

アスク本牧保育園

すいとぴー保育園

本牧めぐみ幼稚園

ルンビニ幼稚園

和光幼稚園

夏休み保育園訪問



様々な遊びの中で過ごす園児たちと一緒に過ごしたり、先生方のかかわり方を見たりする中で、小学校生活につなげていけそうなことを見つけました。

小さいうちから、色、形、感触など、五感を使って遊んでいる。小学校での学習も、このような体験からつながれることはないかな。



遊んでいる中でも、他の子の様子を見て同じようにやってみたり、やってみて試行錯誤したりしているのが分かった。

教えるのではなく、気づかせたり、自分で乗り越えさせたりすることの大切さを感じた。学校でも、もっと「待つ」ことを大切にしていきたい！



わくわく ちょっぴり 1ねんせい会



わくわく ちょっぴり 1ねんせい会

○いっしょにやってみよう

- ・いすにすわる。
- ・いっしょにあそぶ。

おりがみ、おえかき

○学校のことを おしえよう。

- ・べんきょうのこと
- ・きゅうしょくのこと
- ・休みじかんのこと

園と学校との生活や環境を思い出し、違うところを教えたいという思いをもちました。給食の写真を撮って見せたり、休み時間のことをクイズにしたり、ひらがなや数字で遊んだりしながら、学校の様子を伝えました。

教室の雰囲気、給食の様子などが分かったよ。やさしい子たちがいて、楽しかったよ。



楽しくクイズをやってくれてよかった。2年生になっても、もっとやさしくしてあげたいな。



Aブロック 本牧南小 活動報告

本牧南小学校・ルンビニ幼稚園・錦保育園・和光幼稚園・高風保育園

「フェスティバルに招待しよう(11月)」

ルンビニ幼稚園・錦保育園

2年生が作ったおもちゃで遊びました。1年生は学校案内役として、ペアでサポートしました。



「一緒に横浜本牧駅へ(2月)」

和光幼稚園

駅について教えてもらったり、ディーゼル機関車やSL機関車に乗ったりしました。移動するときには手をつないでいたり、子どもたち同士で話したりするなど、あたたかい関わりがたくさんありました。



「ゲームで遊ぼう(11月)」

高風保育園
ルンビニ幼稚園

3年生が総合的な学習の時間に学んだプログラミングについて発表し、作ったゲームと一緒に遊びました。



「学校探検をしよう(2月下旬～3月実施予定)」

高風保育園・ルンビニ幼稚園・錦保育園・和光幼稚園

次年度のスムーズな入学に向けて、各園の年長さんを招待しています。ペア学年になる予定の5年生が計画し、教室や校庭を紹介します。給食も一緒に食べる予定です。

Bブロック

(大鳥小学校・アソカ幼稚園・木下の保育園本牧・早苗幼稚園)

今年度の最初に、小学校と園とでやりたい交流内容について共有し、年間を通して計画的に交流を行った。

①(子ども同士の交流) 1年生と年長児の交流…クラスごとに3園と交流をした。担任同士で連絡を取り合い、どのような交流内容にするか話し合い、ペアを決めて交流を行った。

早苗幼稚園との交流



1年生が夏祭りをしたいと話題に出していたことをきっかけに、早苗幼稚園の年長を招待しようということになった。1年生は幼稚園や保育園でのお祭りの経験を生かしながら準備を進め、当日は一緒に盆踊りを踊ったりお店屋さんをしたりした。

アソカ幼稚園との交流



「年長のみんなに小学校が楽しみたい」という思いをもって、1年生がおまつりを計画した。当日は楽しいクイズを出したり、お店屋さんをしたりした。1年生が年長児に優しく声をかける姿が見られた。

木下の保育園本牧との交流



学校と園の近くにある馴染み深い公園で、外遊びをすることになった。年長児と楽しく、もっと仲良くなれる遊びを1年生が考えた。当日は、1年生から年長児へメダルのプレゼントをしたり、だるまさんがころんだやおにごっこをして遊んだりした。

②(子ども同士の交流) 1年生と年長児の給食交流…給食と一緒に食べる交流を行った。



給食を食べる前には、1年生が給食クイズを出したり、すごろくで遊んだりしながら交流の時間をつくった。学校での給食に最初は戸惑う様子が見られた年長児もいたが、1年生と一緒に食べるなかで、苦手であれば残していいことやもっと食べたいときはおかわりもできることを知り、安心して給食を食べる様子が見られた。

③(子ども同士の交流) 1年生と年長児の交流…3園を招いて「学校のことをおしえるねの会」を開いた。入学が近づいた年長に、1年生のことを教えるための会を1年生が準備をした。



1度目に行った交流のときにつくっていたペアで、学校探検をしたり1年生のことを教える活動を行ったりした。1年生は、年長に伝えたいことを一人一人考え、自分の好きな学校の教室を見せに行ったり、得意なことを披露したりと工夫をしながら活動をしていた。ペアでの活動の時間を充分にとることで、仲が深まり、年長児にも笑顔が見られた。

④(学校行事への参加) 合同避難訓練…小学校での避難訓練のタイミングで、早苗幼稚園と木下の保育園も一緒に訓練を行った。地震が起きたときに実際にどのように行動すべきか考えながら活動することができた。

⑤(職員同士の交流) 園への訪問…10月を職員交流月間とし、小学校職員が3園の教育・保育活動を見学に行った。入学してくる子どもたちが、どのように育っているのかを知る機会となった。

Bブロック(北方小) 「ようこそ きたがたしょうがっこうへ」

・山手保育園 ・新山下2丁目保育所 ・うちゅうこども園やまて ・うみの風保育園

1年生 しょうがっこうは たのしいよ

1年生3クラスでペアとなる園を決め、各クラスの計画で交流しました。今年度は大きなイベントを開くのではなく、1年生の日頃の学習を活かし、国語でつくったクイズを出したり、運動会のダンスを見てもらったり、生活科でつくったどんぐりのこまで一緒に遊んだり、小さな交流を重ねました。

1月の末には、「今度1年生になる年長児が安心できるように」と、学校案内や学校生活紹介をし、一緒に遊ぶといった活動をしました。1年生は、自分たちが頼りになる存在になれるようにと、様々なアイデアを出して、小学校の楽しさを伝えました。

1月 28日 きょうのふりかえり

(かんがえたこと、わかったこと、よかったこと、つぎにやりたいこと など)

しょうがっこうをみてたのしくしてたよ。お礼を言ってくれてくれたら
めっちゃうれしーって思ってたよ。でも、あれはない、
むでそといったらたのしいっていわれてすごく、
うれしかったです。



5年生 これから よろしくね

1年生と同様に、5年生3クラスでペアとなる園を決め、各クラスで年長児と交流しました。5年生は来年度6年生となり、1年生とペアを組みます。

交流会では、「じゃんけん列車」や「ピヨピヨちゃん」などのゲーム、リコーダーの演奏を行いました。小さい子たちが緊張しているだろうとの思いから、膝について好きな色をきいたり、楽しく盛り上げようと雰囲気づくりをしたりと、最高学年へ向かう気持ちを高めていました。

〈5年生の振り返り〉

「協力して保育園の子どもたちを楽しませることができた。」「教えたり伝えたりするのが大変だった。」「終わった後疲れたけれど、やってよかった。」「来年入ってきたときに、もっと関わりたいと思った。また会いたい。」



山元小ブロック活動報告

山元小学校 山元町保育園 保育園ばんびーな 打越保育園 横浜学院幼稚園

秋遊び交流会 【打越保育園】



どんな遊びをすれば楽しんでもらえるのかを考えて、秋遊び会を計画しました。一緒に点数を確認したり、「好きなどんぐりをえらんでね」と伝えたりして、相手意識をもって活動することができました。保育園の子も、最初は緊張していましたが、一緒に遊ぶうちに笑顔が増え楽しむ姿が見られました。

小学校フク探検会 【山元町保育園・保育園ばんびーな】



「学校の中を見てみたい」というリクエストから、学校探検を企画しました。学校に行くのがわくわくになるようなおすすめの場所を紹介しました。「どの本が気になる?」「亀にも触ってみる?」と、園児の思いを大事にしながら活動できました。保育園の子も、小学校への楽しみが増えました。

みんな遊び&小学校紹介会 【横浜学院幼稚園・竹之丸保育園】



「氷鬼やラキュー等様々なもので一緒に遊びたい」「学校の中も見てみたい」という園児の思いから、みんな遊びをした後に小学校紹介をすることに決めました。小学校紹介では、遊べるコーナーもつくり、園児のやってみたいことに合わせて、一緒に学校を回ったり遊んだりすることができました。

事前、事後に各園と手紙やメール、電話で連絡を取り合いながら、交流会を計画しました。

○日程調整



- 保育園の子どもたちの思い
- 保育園の先生の思い
- 小学校の子どもたちの思い
- 小学校の先生の思い



- 交流内容の決定
- 活動の意図、ねらいの確認



☆交流



- 交流後の子どもたちの様子
- 次の交流に向けて

幼保小で連携しながら活動を計画することで、それぞれにとって学びや成長のある交流にすることができました。

立野小ブロック活動報告

立野小学校 さゆり幼稚園 竹之丸保育園

秋さがし交流会



公園で待ち合わせをして、一緒に秋探しを楽しみました。どんぐりを見つけたり、コオロギを見つけたり。「たくさん見つけたからあげるね。」と秋の宝物をもらって年長の子どもたちもにこにこ。小学生のお兄さん、お姉さんと仲良く笑顔で過ごすことができました。

動くおもちゃ交流会



年長の子どもたちを小学校へ招待して教室で遊びました。みんな2年生の子どもたちの作った動くおもちゃに興味津々。「どうやって遊ぶのか教えてください。」年長の子どもたちの質問に2年生の子どもたちも一生懸命答えて、楽しんでもらえるように頑張りました。

立野のまち紹介



まちを探検して見つけたことをクイズにして保育園の子どもたちに伝えました。同じクラスでペアを作って活動してきたので、年長の子どもたちも安心して過ごせたようです。「帰りたくないくらい楽しかった。」と小学校に入学するのが楽しみになったようでした。

本町小ブロック活動報告

本町小学校 1年1組・2組・・・野毛山幼稚園 スターチャイルド桜木町ステーションナーサリー

マイハート紅葉ヶ丘保育園 アスク馬車道保育園

1年3組・4組・・・聖母幼稚園 クラウン保育園 ことぶき保育園 寿福祉センター保育所

本町小学校5年3組

・・・聖母幼 アスク馬車道保 クラウン保

スターチャイルド マイハート保

1年 ZOOM交流会 【スターチャイルド】



ZOOMを使用した交流会をしました。会では、挨拶をしたり、小学生が年長さんからの質問に答えたりしました。この交流会を通して、どの子もこれから一緒にたくさん活動をしたいという思いを持ったようでした。

1年 なかよしあきまつり



公園探検で見つけた秋のお宝で秋まつりをしました。「年長さんにも遊んでほしい」とご招待。「これ、やってみる？」と優しく声をかけ、お兄さんお姉さんであることを意識しているようでした。「楽しかった」と言ってくれる年長さんを見て、緊張したけれど大満足な子ども達でした。

1年 公園探検(秋探し)



公園探検の際に待ち合わせをして、一緒に秋探しをしました。「こっちにいてみよう」と手をつないでどんぐりを探したり、「1年生は走らないようにしたら」とルールを考えて鬼ごっこしたり、年長さんのことを考えて活動する子ども達。「次はいつ会えるかな」と次を心待ちにしていました。

5年3組 シャボン玉ショー



来年度ペア学年になる年長さんをお招きして、総合的な学習の時間で活動している「シャボン玉ショー」を披露しました。様々なシャボン玉が出てくる様子に年長さんは興味深々。5年生もやってよかったと、大きな手ごたえを感じていました。来年度、また会えるのが楽しみです。

・本校は西区と中区にまたがっている学校でDブロック以外の園とも交流している。そのため交流園が多いので、今年は1学年各クラスごとに担当園を決め、一年を通して交流をしていくようにした。そのため、各クラスごとに交流の回数や内容が異っている。

・さらに、今年度は5年生の希望で「総合的な学習の時間」の活動を通して3園と交流を行った。来年度6年生になったときのペア学年であることから実現した。これから、様々な形で交流が深まっていくとよい。

<左記以外の交流>

- ・小学校の体育の授業を見学。
- ・国語「くじらぐも」のペープサート
- ・小学校わくわくドキドキ楽しいよの会(2、3月) など

<交流に向けて>

- ①園へ交流の希望調査
- ②子ども達の思いを話し合う
- ③メールやFAX、電話にて場所や日程調整
- ④年長さんの思いから児童が計画
- ⑤計画書を作成、連絡
- ⑥交流実施後、次回交流の打合せ

みなとみらい本町小ブロック活動報告

みなとみらい本町小学校 熊猫幼稚園 にじいろ保育園 くばがさ保育園 キッズパートナーみなとみらい
京急キッズランド ポピンズナーサリースクール

9月海のかくれんぼ クイズ大会



国語科の学習でクイズ大会を年長さんにしたいという話し合いになり、各園の年長さんに来ていただき、クイズ大会を行いました。複数園のかかわったことで、回を追うごとに、クイズの出し方や関わり方を改善し、クイズ大会が終わると一緒に話したり折り紙を折ったりして楽しむことができました。

11月1-1おもちゃ まつりへようこそ！



年長さんに遊んでもらいたいという相手意識をもって制作しました。6年生にもアドバイスをもらいながらおもちゃを作りました。前回の交流から、自分たちではなく相手を喜ばせたいという意欲が生まれ、年長さんに対して言葉がけやサポートするなど、優しい姿を見ることができました。

1月学校探検隊 ミッションクリア！



年長さんからまた学校に行きたい！という声をいただき、学校を案内しようということになりました。ミッションを用意してクリアしたらスタンプが押せるように準備しました。予定にはない読み聞かせをしたり、クイズをしたり、相手のことを考えてよりよいかかわり方を考え、実行する力が身に付いてきました。

○交流にむけて

- ・メールや電話で連絡を取り合い交流の計画、実施をした。
- ・日程調整と活動内容の希望など→交流内容の決定、連絡→交流→交流後の様子の共有、次回の予定について打ち合わせ

○園の職員による給食の見学

- ・来年度入学に際して給食に不安を感じる園児のフォローアップがしたい旨の連絡を受け、給食時の様子の見学を計画。
- ・園の様子を話す機会は今まであったが、園の職員が学校の様子を見学することが少なく、こういった機会が来年度も設けていただけると嬉しいという意見をいただいた。

来年度、職員同士の交流や見学会などを計画していきたい。

元街小ブロック活動報告

元街小学校 横濱中華幼保園 横浜三育幼稚園 横浜みこころ幼稚園
横浜学園附属元町幼稚園 アメリカ山徳育こども園 ラフ・クルー元町保育園 アスク山下町保育園
うちゅう保育園やました 木下の保育園山下町



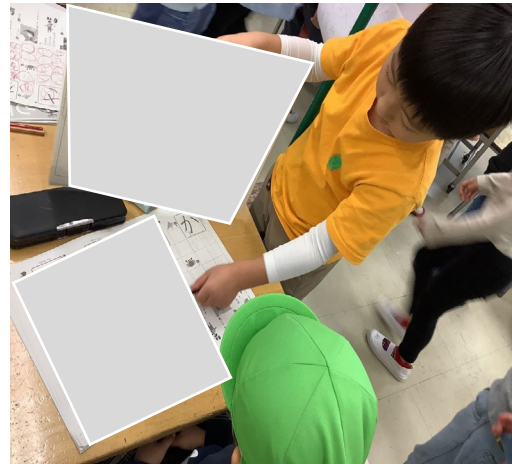
ようこそ、元街小へ！

小学校は楽しいよ ～一年生体験～

秋遊びの交流を終え、今度一年生になる年長児に小学校のことを伝えたいと思いをもち、園児を招待しました。学校のことや掃除、給食のことなど、実際に体験したり写真で見せたりしながら小学校のことを伝えました。年長児からは「小学生になるのが楽しみ」と思ってもらえて喜んでいました。

一緒に秋遊びを楽しみました！

生活の時間に秋あそびを楽しんだことをきっかけに、園の友達を招待したい、という思いをもちました。園の友達を招待して、小学生が考えたどんぐりを使った秋遊びを一緒に楽しみました。園児も小学生も笑顔で楽しんで遊ぶ姿が見られました。



職員間の交流として、園の職員が小学校の授業を参観したり小学校の職員が園へ見学に行ったりしました。

今年度は、新たな試みとして、二つの取組を行いました。一点目は小学校の職員向けに架け橋プログラムについて幼保小担当がミニ研修を行いました。二点目は夏に元街小に三園の園長先生と一年担任・児童指導専任が集まり、情報交換会を行いました。各園、小学校のカリキュラムを持ち寄り、園や学校で大切にしていること、小学校への円滑な接続のために年長のうちに準備してほしいこと等を共有し、有意義な時間になりました。

【成果と課題 来年度に向けて】

- 区全体で幼保小合同の研修会をもつことで、架け橋期における期待する子ども像や育てたい資質・能力、幼保側から小学校に望むことなど、子どもたちの成長に向けて大切にすべきことをブロック内にとどまらず、区として共有することができた。
 - 研修会や講演会を通して、架け橋期への理解が深まり、幼保小の交流が、より豊かになった。
 - 総会や実行委員会を集合形式で行うことで、幼保小の関係だけではなく、園同士、学校同士も顔の見える関係をつくることができた。
-
- 講演会の参加者が少ないので、対象を明確にし、開催の曜日、時間、場所を考えなければならない。
 - ブロック、または園、学校で作成しているカリキュラムを持ち寄り、比較、検討する中で、それぞれのカリキュラムの改善を図っていききたい。
 - 相互理解に向けた職員間の交流、研修の場を増やしていききたい。